

授業科目	犬学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68時間	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	1 年次	学期	前期・後期
担当教員	栗田 千裕		実務経験: 動物病院/動物看護師		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬の種類、習性、しつけ等について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は教科書を用いた講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	オリエンテーション、犬学の概要		⑱	犬の正常行動 2	
②	「人と犬」の歴史について		⑲	犬の正常行動 3	
③	犬種が多くなった理由		⑳	犬の正常行動 4	
④	犬種による性格の違い 1		㉑	犬のコミュニケーションについて	
⑤	犬種による性格の違い 2		㉒	子犬の行動発達	
⑥	初めての犬との接し方		㉓	犬の問題行動 1	
⑦	犬の飼育とは 1		㉔	犬の問題行動 2	
⑧	犬の飼育とは 2		㉕	犬の問題行動 3	
⑨	高温多湿の季節に増加する皮膚トラブル		㉖	犬の問題行動 4	
⑩	犬の肥満について		㉗	犬の問題行動 5	
⑪	犬の耳の形、尾の形		㉘	犬の問題行動の予防と治療 1	
⑫	雌犬の発情サイクルについて		㉙	犬の問題行動の予防と治療 2	
⑬	雄犬の繁殖生理について		㉚	犬の問題行動の予防と治療 3	
⑭	犬の毛質・色について		㉛	犬の問題行動の予防と治療 4	
⑮	ワクチンとは		㉜	ペットショップの生体販売の問題点 1	
⑯	子犬のワクチンワーク		㉝	ペットショップの生体販売の問題点 2	
⑰	犬の正常行動 1		㉞	犬の登録について	
評価方法	出席状況、受講態度、期末試験の成績にて 出席状況 10%、受講態度 10%、期末試験の成績 80%				
受講生に対するメッセージ	犬に関する基礎知識をしっかりと身につけ、将来の職業に役立つ内容を中心に指導していますので、お客様から信頼されるスタッフになってもらいたい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教科書				
署名:「イラストで見る犬学」監修 林良博 出版社 講談社					
署名:「コンパニオンアニマルの健康管理学」著者 浅野妃美・浅野隆司 出版社 インターズー					

授業科目	猫学	実務経験のある教員等による授業科目			
必修・選択	必修	時間数	34 時間		
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	1 年次	学期	前期・後期
担当教員	北川 智美	実務経験: ペットショップ/ショップスタッフ			
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
猫の種類、習性、飼い方等について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師	単独		
この科目では講義を中心に行うが、実習という形で実際に猫に触れ、犬との違いを学んでいく。					
授業計画・内容					
①	猫の起源				
②	習性と生態①(単独行動・捕食性行動)				
③	習性と生態②(排泄行動・マーキング行動)				
④	習性と生態③(グルーミング)				
⑤	五感①(聴覚・視覚・嗅覚)				
⑥	五感②(味覚・触覚)				
⑦	体の仕組み①(歯・爪・肉球)				
⑧	体の仕組み②(皮膚・被毛・筋肉・骨格)				
⑨	体の仕組み③(実習)				
⑩	繁殖①				
⑪	繁殖②				
⑫	かかりやすい疾患①(尿石症)				
⑬	かかりやすい病気②(腎不全)				
⑭	栄養管理				
⑮	猫の種類①(ボディタイプ)				
⑯	猫の種類②(カラー・コート)				
⑰	猫の種類③(人気猫種)				
評価方法	①出席率・受講態度 ②定期試験結果				
受講生に対するメッセージ	年々飼育数が増えている猫について講義と実習で犬との違いなど、正しい知識を身に付けて貰いたい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教科書				
書名：イラストでみる猫学／著者：林良博／出版社：株式会社講談社／出版年：2011年					

授業科目	スタンダード学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	102 時間	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	1,2 年次	学期	前期・後期
担当教員	宮本 利子		実務経験：トリミングサロン／トリマー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬種についての原産、特長、標準体型などを学習する。各犬種の理想像を学ぶことで、トリミングをする犬の体形の長所・短所を理解し、更にカットで補うテクニックの習得につながる。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義が中心となる。					
授業計画・内容					
①	スタンダードとは	⑮	ダルメシアン		
②	犬体名称	⑯	柴		
③	骨格名称	⑰	ポメラニアン		
④	歯・咬み合せ	⑱	ボーダー・コリー		
⑤	全犬種の 10 グループの区分についての説明	⑳	ブルドッグ		
⑥	プードル①	㉑	ミニチュア・シュナウザー		
⑦	プードル②	㉒	エアデール・テリア		
⑧	ゴールデン・レトリバー	㉓	ウェルシュ・コーギー		
⑨	チワワ	㉔	フレンチ・ブルドッグ		
⑩	ダックス・フント	㉕	アフガン・ハウンド		
⑪	マルチーズ	㉖	シーズー		
⑫	シェットランド・シープドッグ	㉗	日本スピッツ		
⑬	パグ	㉘	ヨークシャー・テリア		
⑭	パピヨン	㉙	グレート・ピレニーズ		
⑮	アメリカン・コッカー・スパニエル	㉚	ジャック・ラッセル・テリア		
⑯	ラブラドル・レトリバー	㉛	チャウチャウ		
⑰	ビーグル	㉜	ボルゾイ		
評価方法	期末テスト結果 出席率及び授業態度				
受講生に対するメッセージ	犬には犬種ごとに決められた理想像があり、ドッグショーの審査、ブリーディング計画、トリミングの基準に必要である。身近な犬種でも専門的な観点から見ると学ぶことが多い。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名 『JKC 全犬種標準書 第 11 版』		発行所 一般社団法人 ジャパン ケネル クラブ			

授業科目	動物飼養管理学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68時間	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	1 年次	学期	前期・後期
担当教員	八尾 敦		実務経験: 動物テーマパーク/飼育員		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物に関連する法律、動物と人間の歴史、動物の飼養方法などを学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は指定教本を用いた講義を中心とする。動物分野を幅広く学び、将来の就職に役立てる人材育成を目指す。また愛玩動物飼養管理士2級資格の取得を目指す。					
授業計画・内容					
①	愛玩動物飼養管理士とは				
②	動物の適正飼養相談				
③	動物観 西洋～東洋				
④	人と動物の関係学				
⑤	動物の愛護及び管理に関する法律 1				
⑥	動物の愛護及び管理に関する法律 2				
⑦	動物の愛護及び管理に関する法律 3				
⑧	動物の愛護及び管理に関する法律 4				
⑨	動物の愛護及び管理に関する法律 5				
⑩	関連法規				
⑪	動物の体と仕組みについて				
⑫	健康増進と疾病予防				
⑬	衛生管理				
⑭	動物の飼養管理 犬・猫他				
⑮	動物の飼養管理 小鳥・小動物他				
⑯	動物の飼養管理 爬虫類他				
⑰	資格試験対策				
評価方法	出席状況、ミニテスト、期末試験の成績、課題レポート、受講態度を考慮して評価。				
受講生に対するメッセージ	動物を扱う人として、幅広い知識と意識を持つことは不可欠です。人と動物の関係という広い視野で学び、社旗に役立てる人材になってほしい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教本				
書名:「愛玩動物飼養管理士2級教本 1・2巻」					

授業科目	ペットビジネス学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68時間（合計136時間）	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	1 年次	学期	前期・後期
担当教員	池田 玲奈		実務経験:動物テーマパーク/飼育員・トレーナー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
ペット関連の様々な業種、仕事内容、現状などを学習する。					
授業方法・形態	講義	講師	単独		
授業を通してまずはペット業界に関連する職業を内容と共に紹介し、そこで働き続けるためにはどのような知識が必要か、そして就職活動の手助けとなるような講義を目指す。					
授業計画・内容					
①	ペット産業について		⑱	日常での正しい子犬との接し方	
②	ペット業界に関わる職業①		⑲	犬種選定（性格）	
③	ペット業界に関わる職業②		⑳	犬種選定（性別）	
④	ペット産業の歴史		㉑	犬種選定（純血種、雑種）	
⑤	ペットショップの責務①		㉒	犬種選定（子犬、成犬）	
⑥	ペットショップの責務②		㉓	犬種選定（大型、小型）	
⑦	動物の愛護及び管理に関する法律①		㉔	犬種選定（室内、室外）	
⑧	動物の愛護及び管理に関する法律②		㉕	犬種選定（長毛、短毛）	
⑨	動物の愛護及び管理に関する法律③		㉖	子犬の健康チェック①	
⑩	人気犬種の変遷		㉗	子犬の健康チェック②	
⑪	しつけと訓練		㉘	子犬の健康チェック③	
⑫	小動物販売		㉙	生体の仕入れ①	
⑬	ペットフード業界		㉚	生体の仕入れ①	
⑭	ペットフードの歴史		㉛	血統書の見方①	
⑮	卸売業界		㉜	血統書の見方②	
⑯	ペットフードの安全性①		㉝	血統書の見方③	
⑰	ペットフードの安全性②		㉞	一胎子登録申請書の書き方	
評価方法	定期試験の結果、出席状況、受講態度				
受講生に対するメッセージ	授業を通してまずはペット業界に関連する職業を知り、そこで働き続けるためにはどのような知識が必要かなどを学習し、どの業種に就いても即戦力となって活躍してもらいたい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教科書				
『ペットビジネス プロ養成講座 vpl.1 ペットショップ』 出版社：インターズー					

授業科目	ペットビジネス学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68時間（合計136時間）	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	2年次	学期	前期・後期
担当教員	山内 雅史		実務経験：動物テーマパーク／飼育員・トレーナー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
ペット関連の様々な業種、仕事内容、現状などを学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業はテキストや配布資料を用いた講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	日本のペット産業概論				
②	ペットの販売に関する職業倫理				
③	ペットの販売に関する法律				
④	ペットの歴史と生体（犬）				
⑤	ペットの歴史と生体（猫）				
⑥	ペットの歴史と生体（小動物）				
⑦	犬・猫の繁殖と遺伝				
⑧	ペットの飼育と管理				
⑨	犬と猫の行動学としつけ				
⑩	ペットの栄養学				
⑪	ペットショップの売り場づくり				
⑫	商品別販売のポイント				
⑬	ペットショップの仕入れ業務				
⑭	在庫管理の基礎知識				
⑮	販売管理の基礎知識				
⑯	接客とマナー				
⑰	店内における接客の注意点				
評価方法	授業態度と定期試験の結果による				
受講生に対するメッセージ	即戦力となれるよう、現場で求められる知識と技術の修得を目指します。				
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	公衆衛生学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34 時間	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	2 年次	学期	前期・後期
担当教員	水野 恵理子		実務経験: 研究所・動物病院/ 研究員・獣医師		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
公衆衛生の基本的な考え方を理解し、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生などについて学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	公衆衛生学 概論				
②	人獣共通感染症 概論				
③	人獣共通感染症の伝播様式と予防対策				
④	動物由来の主な人獣共通感染症				
⑤	ウイルスによる人獣共通感染症①				
⑥	ウイルスによる人獣共通感染症②				
⑦	ウイルスによる人獣共通感染症③				
⑧	細菌による人獣共通感染症①				
⑨	細菌による人獣共通感染症②				
⑩	細菌による人獣共通感染症③				
⑪	真菌による人獣共通感染症①				
⑫	真菌による人獣共通感染症②				
⑬	寄生虫による人獣共通感染症①				
⑭	寄生虫による人獣共通感染症②				
⑮	滅菌について				
⑯	消毒について				
⑰	動物防疫				
評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する				
受講生に対するメッセージ	将来動物病院で勤務する際に衛生面で注意すべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かすように学習する。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名: 「動物看護コアテキスト 第3巻」 出版社 ファームプレス					

授業科目	ビジネスマナー		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34時間	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	2年次	学期	前期・後期
担当教員	山内 雅史		実務経験:動物テーマパーク/飼育員、トレーナー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
ビジネスにおけるマナーや文書の書き方などを学習する。					
授業方法・形態	講義	講師	単独		
授業は講義を中心とし、検定試験前には過去問題で模擬試験を行う。 電子メールやビジネス文書・電話対応等は実際に受講生に作成してもらい身に付けていく。					
授業計画・内容					
①	期待される社会人とは				
②	働く意義を考える				
③	職業選択の為の行動				
④	福利厚生について				
⑤	会社の基本とルール(コンプライアンス)				
⑥	仕事の8つの意識①				
⑦	仕事の8つの意識②				
⑧	コミュニケーションの基本(身だしなみ)				
⑨	敬語の種類				
⑩	話し方と聞き方のポイント				
⑪	職場のルール(就業規則)				
⑫	指示を受けるポイント(電子メールの利用)				
⑬	ビジネス文書①(社内文書)				
⑭	ビジネス文書②(社外文書)				
⑮	電話対応				
⑯	来客対応の基本・流れ・席次				
⑰	会食のマナー(テーブルマナー)・冠婚葬祭の基本				
評価方法	①出席率・受講態度 ②定期試験結果 ③ビジネス能力検定の可否				
受講生に対するメッセージ	この科目では、社会に出る為(働く為)に必要な一般常識やマナー等を中心に講義を行う。 ただ講義を受講するだけではなく、しっかりと身に付けて今後役に立てて貰いたい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	必要に応じて資料を配布				
書名: 要点と演習 ビジネス能力検定ジョブパス 3級/著作者: ビジネス能力検定ジョブパス研究会/出版社: 実教出版株式会社/出版年: 2019年/入手方法: 一般書店、ネット購入					



授業科目	ペットショップ概論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34 時間	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	2 年次	学期	前期・後期
担当教員	池田 玲奈		実務経験: 動物テーマパーク/飼育員・トレーナー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
ペットショップにおける役割と責務、販売に関する基礎知識などを学ぶ。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業はテキストや配布資料を用いた講義を中心とする。					
授業計画・内容					
①	ペット産業の歴史としくみ				
②	ペットの販売に関する法律①				
③	ペットの販売に関する法律②				
④	犬の繁殖と遺伝				
⑤	猫の繁殖と遺伝				
⑥	ペットの飼育と管理①				
⑦	ペットの飼育と管理②				
⑧	ペットの飼育と管理③				
⑨	ペットフードの基礎知識①				
⑩	ペットフードの基礎知識②				
⑪	商品の陳列・販売のポイント しつけ関連商品				
⑫	商品の陳列・販売のポイント ケア関連商品				
⑬	顧客管理 在庫管理①				
⑭	顧客管理 在庫管理②				
⑮	接客マナーについて				
⑯	開業について①				
⑰	開業について②				
評価方法	授業態度と定期試験の結果による。				
受講生に対するメッセージ	ペットショップが果たす役割や責務から、運営に関してを学びます。				
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	飼育管理学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34 時間	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	2 年次	学期	前期・後期
担当教員	北川 智美		実務経験: ペットショップ/ショップスタッフ		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物飼育の方法について学ぶ。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業はテキストや配布資料を用いた講義を中心とする。					
授業計画・内容					
⑮	適正飼育とは何か				
⑰	適正な飼育環境①（ハードウェア編）				
⑳	適正な飼育環境②（ソフトウェア編）				
21	犬の生活リズムと家族の生活リズムの関係性				
22	睡眠が果たす役割				
23	犬種毎の特性と運動量				
24	犬の熱管理				
25	熱中症対策				
26	過食				
27	摂食障害				
28	空間的自由を満たす事とは				
29	社会的ふれあいの必要性				
30	探索行動欲求を満たす事で果たせるもの				
31	病気と高齢化				
32	老化対策				
⑯	老化のプロセス				
⑰	ペットロスについて				
評価方法	授業態度と定期試験の結果による。				
受講生に対するメッセージ	犬の健康管理と適正な飼育方法・飼育環境作りを目的にしています。				
教科書・参考書・資料・参考文献					

授業科目	グルーミング概論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	136時間	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	1、2年次	学期	前期・後期
担当教員	宮本 利子		実務経験：トリミングサロン／トリマー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬の手入れ方法、道具の使い方等を犬種別に学習する。1年次の実習でトリミングをするカットスタイルの基礎を学ぶ。感覚だけでカットするだけではなく、概論を理解することでカット技術の向上を目的とする。					
授業方法・形態	講義	講師			
講義でカットの手順、形の作り方を説明した後に実践を通して更に細かいテクニックを学ぶ。					
授業計画・内容					
①	道具の名称・用途	⑱	ミニチュア・シュナウザー概論②		
②	道具の使い方	⑲	ミニチュア・シュナウザー実践①		
③	グルーミング作業の説明①	⑳	ミニチュア・シュナウザー実践②		
④	グルーミング作業の説明②	㉑	テディベアカット概論①		
⑤	ケネル&ラムクリップ概論①	㉒	テディベアカット概論②		
⑥	ケネル&ラムクリップ概論②	㉓	テディベアカット実践①		
⑦	ケネル&ラムクリップ実践①	㉔	テディベアカット実践②		
⑧	ケネル&ラムクリップ実践②	㉕	アメリカン・コッカー・スパニエル概論①		
⑨	サマーカット概論①	㉖	アメリカン・コッカー・スパニエル概論②		
⑩	サマーカット概論②	㉗	アメリカン・コッカー・スパニエル実践①		
⑪	サマーカット実践①	㉘	アメリカン・コッカー・スパニエル実践②		
⑫	サマーカット実践②	㉙	ケリー・ブルー・テリア概論①		
⑬	シェットランド・シープドッグ概論①	⑳	ケリー・ブルー・テリア概論②		
⑭	シェットランド・シープドッグ概論②	㉑	ケリー・ブルー・テリア概論③		
⑮	シェットランド・シープドッグ実践①	㉒	ケリー・ブルー・テリア実践①		
⑯	シェットランド・シープドッグ実践②	㉓	ケリー・ブルー・テリア実践②		
⑰	ミニチュア・シュナウザー概論①	㉔	ケリー・ブルー・テリア実践③		
評価方法	期末テスト結果 トリミング実習中に概論を理解し実習に取り組んでいるのかを判断する。				
受講生に対するメッセージ	トリミングをする上では必要不可欠な授業である。一つ一つのカットには概論があり、それを十分理解しないとカットの仕上がりがイメージできない。形をイメージすることはとても大事なことで技術向上のカギになる。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名『最新ドッグ グルーミング マニュアル』	発行所 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ				

授業科目	トリミング概論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	136時間	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	1、2年次	学期	前期・後期
担当教員	宮本 利子		実務経験：トリミングサロン／トリマー		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬のカットスタイルについて犬種、スタイル別に必要な技術とともに学習する。感覚だけでカットするだけでなく、概論を理解することでカット技術の向上を目的とする。					
授業方法・形態	講義	講師			
座学でカットの手順、形の作り方を説明した後に実践を通して更に細かいテクニックを学ぶ。					
授業計画・内容					
①	ビション・フリーゼ概論①		⑱	エアデール・テリア実践②	
②	ビション・フリーゼ概論②		⑲	パジャマ・ダッチ・クリップ概論①	
③	ビション・フリーゼ実践①		⑳	パジャマ・ダッチ・クリップ概論②	
④	ビション・フリーゼ実践②		㉑	パジャマ・ダッチ・クリップ実践①	
⑤	犬体用語		㉒	パジャマ・ダッチ・クリップ実践②	
⑥	グルーミング用語		㉓	ベドリントン・テリア概論①	
⑦	コンチネンタル・クリップ概論①		㉔	ベドリントン・テリア概論②	
⑧	コンチネンタル・クリップ概論②		㉕	ベドリントン・テリア実践①	
⑨	コンチネンタル・クリップ実践①		㉖	ベドリントン・テリア実践②	
⑩	コンチネンタル・クリップ実践②		㉗	ロイヤル・ダッチ・クリップ概論①	
⑪	イングリッシュ・サドル・クリップ概論①		㉘	ロイヤル・ダッチ・クリップ概論②	
⑫	イングリッシュ・サドル・クリップ概論②		㉙	ロイヤル・ダッチ・クリップ実践①	
⑬	イングリッシュ・サドル・クリップ実践①		⑳	ロイヤル・ダッチ・クリップ実践②	
⑭	イングリッシュ・サドル・クリップ実践②		㉑	ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア概論①	
⑮	エアデール・テリア概論①		㉒	ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア概論②	
⑯	エアデール・テリア概論②		㉓	ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア実践①	
⑰	エアデール・テリア実践①		㉔	ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア実践②	
評価方法	期末テスト トリミング実習中に概論を理解し実習に取り組んでいるのかを判断する。				
受講生に対するメッセージ	トリミングをする上では必要不可欠な授業である。一つ一つのカットには概論があり、それを十分理解しないとカットの仕上がりがイメージできない。形をイメージすることはとても大事なことで技術向上のカギになる。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名『最新ドッグ グルーミング マニュアル』 発行所 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ					

授業科目	トリミング実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	306 時間（合計 612 時間）	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	1 年次	学期	前期・後期
担当教員	宮本利子/実務経験:トリミングサロン/トリマー、モア葉子/実務経験:トリミングサロン/トリマー、片野美咲/実務経験:トリミングサロン/トリマー、村越渚、田中陽奈、千葉春里				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬のカット方法を実際の犬を使って実習で習得する。1 年次に習得するライセンス 3 級・2 級を目標に自習に取り組む。同時に生き物を扱うことの意識を深める。クラスメイトとの作業を通して協調性を身に付ける。					
授業方法・形態	実習	講師			
授業は実習を中心とする。実習で使う犬の種類や大きさによって、1～3 名のグループに分かれて作業を行う。繰り返し作業を続けることで理解を深め技術を高めていく。更に 1 つ 1 つの作業時間の短縮を目指していく。					
授業計画・内容					
①	道具の名称・使い方	⑮	ライセンス 3 級 練習（時間短縮）		
②	グルーミング作業（小型犬）	⑰	ライセンス 2 級 ケネル&ラムクリップ始動		
③	グルーミング作業・はさみの持ち方	⑳	ポメラニアントリミング①		
④	プードルのクリッピング	㉑	マルチーズトリミング③		
⑤	ケネル&ラムクリップ①	㉒	グルーミング作業（大型犬）		
⑥	マルチーズのサマーカット①	㉓	ケネル&ラムクリップの理解を深める		
⑦	グルーミング作業（中型犬）	㉔	ケネル&ラムクリップ カット時間を意識する		
⑧	シーズーのサマーカット①	㉕	ケネル&ラムクリップ カット時間短縮を目標にする		
⑨	プードルのケネル&ラムクリップ	㉖	シーズーのサマーカット③		
⑩	プードルのクリッピング（目標時間設定）	㉗	ミニチュアシュナウザーのクリッピング注意点		
⑪	ケネル&ラムクリップ（目標時間設定）	㉘	ミニチュアシュナウザートリミング①		
⑫	マルチーズのサマーカット②	㉙	ライセンス 2 級 模擬①		
⑬	ケネル&ラムクリップ（個体にあったカットの説明）	⑳	接客実践・お客様相手にお預かりとお返し		
⑭	グルーミング作業（大型犬）	㉑	ポメラニアントリミング②		
⑮	ライセンス 3 級 練習	㉒	ライセンス 2 級 模擬②		
⑯	ケネル&ラムクリップ③	㉓	ミニチュアシュナウザートリミング②		
⑰	シーズーのサマーカット②	㉔	ケネル&ラムクリップ 2 年生に向けての課題		
評価方法	1 つ 1 つの作業やカットの仕上がり及び作業にかかった時間。道具の使い方が正しく使えているか、犬に負担をかけないで作業しているか。自分が何をすればいいのか考えて行動できているか。（一緒に作業し散る人のサポート、教室内の掃除）				
受講生に対するメッセージ	はさみを使ったり、生きている犬を扱っているので私語や授業態度に厳しく対応しているため、集中して実習を行っている。日々の授業では成長を感じることは中々無いが、3 ヶ月、6 ヶ月、1 年と振り返ると大きく成長した自分を実感できる。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教本				
書名:「最新ドッググルーミングマニュアル」 発行所 一般社団法人ジャパンケネルクラブ					

授業科目	トリミング実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	306時間（合計 612 時間）	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	2 年次	学期	前期・後期
担当教員	宮本利子/;実務経験:トリミングサロン/トリマー、モア葉子/実務経験:トリミングサロン/トリマー、片野美咲/実務経験:トリミングサロン/トリマー、村越渚、田中陽奈、千葉春里				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬のカット方法を実際の犬を使って実習で習得する。2 年次に修得するライセンス 1 級を目標にして実習に取り組む。豊富な犬種を扱うことで即戦力として活躍できるトリマーを育成する。各学生の個性を伸ばし更なる技術向上を目指す。					
授業方法・形態	実習	講師			
授業は実習を中心とする。1 年時に学んだ基礎をもとに、犬種毎に 1～2 名のグループに分かれ作業を行う。					
授業計画・内容					
①	ケネル&ラムクリップ（上級編①）		⑮	テディベアカット③	
②	テディベアカット①		⑰	コンチネンタルクリップ②	
③	エアデールテリアのブラッキング①		⑳	ケリーブルーテリア②	
④	ケリーブルーテリアのトリミング①		㉑	ケネル&ラムクリップ（2 時間で仕上げる）	
⑤	アメリカンコッカースパニエルのトリミング①		㉒	マルチーズのサマーカット②	
⑥	ケネル&ラムクリップ（上級編②）		㉓	ポメラニアン②	
⑦	マルチーズのサマーカット①		㉔	エアデールテリア③	
⑧	コンチネンタルクリップ①		㉕	アメリカンコッカースパニエル③	
⑨	テディベアカット②		㉖	ライセンス試験模擬①	
⑩	ソフトコートドウィートンテリア①		㉗	シーズーのサマーカット②	
⑪	ケネル&ラムクリップ（上級編③）		㉘	ソフトコートドウィートンテリア②	
⑫	エアデールテリア②		㉙	ライセンス試験模擬②	
⑬	アメリカンコッカースパニエル②		⑳	テディベアカット④	
⑭	シーズーのサマーカット①		㉑	コンチネンタルクリップ	
⑮	ポメラニアン①		㉒	マルチーズのサマーカット③	
⑯	ケネル&ラムクリップ（時間を意識する）		㉓	ポメラニアン③	
⑰	グルーミング作業（小～大型犬）		㉔	ケネル&ラムクリップ（上級編）	
評価方法	1 つ 1 つの作業やカットの仕上がり及び作業にかかった時間。犬の負担をかけずに作業しているか。出席率及び授業態度。				
受講生に対するメッセージ	作業に慣れトリミングの楽しさを実感できるが、1 つ 1 つの作業に手を抜かず丁寧に行う姿勢がカットの上達に繋がっていく。就職活動を通じて社会人としての自覚が芽生えるとともに目標とするトリマーの姿がはっきりとしてくるので更にステップアップをして欲しい。				
教科書・参考書・資料・参考文献	教本				
書名「最新ドッググルーミングマニュアル」 発行所 一般社団法人ジャパンケネルクラブ 2013 年					

授業科目	ハンドリング実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68時間	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	1 年次	学期	前期・後期
担当教員	宮本利子/;実務経験:トリミングサロン/トリマー、村越渚、田中陽奈、千葉春里				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
ドッグショーでの犬の扱い方、歩かせ方などを実習で習得する。					
授業方法・形態	講義	講師			
講義と実践形式で授業を進める。					
授業計画・内容					
①	ハンドリングとは①				
②	ハンドリングとは②				
③	ハンドリングの歴史①				
④	ハンドリングの歴史②				
⑤	スタックの基本的な手順・実践				
⑥	小型犬のスタックの手順・実践				
⑦	大型犬のスタックの手順・実践				
⑧	ドッグショーでの審査基準				
⑨	ハンドリングとドッグショーのつながり①				
⑩	ハンドリングとドッグショーのつながり②				
⑪	リードのかけ方・持ち方・実践				
⑫	歩行の解説・実践①				
⑬	歩行の解説・実践②				
⑭	スタックの実践				
⑮	犬種ごとのショーグルーミング・スタック・歩様①				
⑯	犬種ごとのショーグルーミング・スタック・歩様②				
⑰	ドッグショーでのマナーとルール				
評価方法	出席率及び授業態度 実践で犬をコントロールして綺麗に見せることができるか。				
受講生に対するメッセージ	トリマーの活躍できる場所の一つとしてドッグショーがある。ペットカットとショートトリミングの両方ができるトリマーは貴重な人材になる。そのドッグショーで犬を引くトリマーも珍しくない。スタンダードに近づけるためカット、スタックとテクニックを磨く。				
教科書・参考書・資料・参考文献					
書名	『ハンドリング マニュアル』	発行所	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ		

授業科目	繁殖学実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68時間	
科目設置学科	ドッグトリマー	開講学年	2年次	学期	前期・後期
担当教員	北川 智美		実務経験: ペットショップ/ショップスタッフ		
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬の交配、出産などの管理を実習で習得する。。					
授業方法・形態	実習	講師			
つくばわんわんランドの飼育場、産室、子犬展示館等を用いての実習を中心とした授業とする。					
授業計画・内容					
①	オリエンテーション		⑮	子犬の授乳実習 2	
②	犬に慣れる 1 散歩など		⑯	子犬の授乳実習 3	
③	犬に慣れる 2 ブラッシングなど		⑰	子犬の授乳実習 4	
④	犬に慣れる 3 耳掃除など		⑱	子犬の離乳食実習 1	
⑤	犬に慣れる 4 爪切りなど		⑳	子犬の離乳食実習 2	
⑥	犬舎掃除実習		㉑	子犬の離乳食実習 3	
⑦	犬のケージ洗い、組み立てを学ぶ		㉒	子犬の離乳食実習 4	
⑧	犬の交配シミュレーション		㉓	子犬の離乳食実習 5	
⑨	犬の交配 1		㉔	子犬のパピートレーニング 1	
⑩	犬の交配 2		㉕	子犬のパピートレーニング 2	
⑪	犬の交配 3		㉖	子犬のパピートレーニング 3	
⑫	「隔離」飼育のシミュレーション		㉗	子犬のパピートレーニング 4	
⑬	「隔離」飼育を学ぶ 1		㉘	子犬のパピートレーニング 5	
⑭	「隔離」飼育を学ぶ 2		㉙	子犬のパピートレーニング 6	
⑮	「隔離」飼育を学ぶ 3		㉚	総合実習 1	
⑯	「隔離」飼育を学ぶ 4		㉛	総合実習 2	
⑰	子犬の授乳実習 1		㉜	総合実習 3	
評価方法	出席状況、受講態度、習得技量を考慮して成績を評価する 出席状況 10%、受講態度 10%、習得技量 80%				
受講生に対するメッセージ	実際の子犬を使用した実習を十分に経験できるため、とておも良い技術が身に付くので、自身を以て仕事に生かして欲しい。				
教科書・参考書・資料・参考文献					